

株式会社コーアツ

社会の安全に貢献するガス系消火システムのパイオニア ——水が使えない施設の火災から「人の生命と財産を守る」

ここに注目!

ガス消火専門の豊富な知見と自社技術に基づくソリューションの力
開発から設計・製作、施工、メンテを一貫したシステム提供力

日本国内で発行されたすべての出版物を収集する国立国会図書館。1200万冊の収蔵能力を持つ広大な書庫には、火災発生に備えてガス消火設備が張り巡らされている。水で火を消すわけにはいかないからだ。この水を使わないガス系消火設備のパイオニアが株式会社コーアツだ。1951年に炭酸ガス消火設備の専門メーカーとして誕生して以来、業界のリーディングカンパニーとして社会の安全に貢献してきた。

ガス消火とは、窒素などのガスを放出して火災現場の酸素濃度を引き下げることにより火を消す仕組み。ろうそくにコップを被せると火が消えるのと同じ理屈だ。水消火では二次被害が出てしまう図書館、美術館のほか、電気設備への影響が懸念される発電所や高層

ビルなどで用いられ、「最近ではデータセンター（DC）をはじめとする情報通信施設向けの需要が増えている」（佐々木孝行社長）。まさにコーアツは、火災から人の生命だけでなく、社会に必要な貴重な財産や情報を守ってくれる陰の立役者と言えるだろう。

ハロン全廃に伴う窒素用制圧式バルブの開発で飛躍

シンプルな原理を用いた装置でありながら、時代とともに消火剤は目まぐるしく変化した。なかでも同社飛躍の起点となったのが、1995年のハロンガスに替わる窒素ガス消火装置の開発。それまで消火剤の主流だったハロンが、オゾン層破壊物質として94年に全廃され、窒素への代替を余儀なくされたが、ハロンに比べ消火能力

が劣るため、高圧にして多くの窒素を容器に詰め込む必要がある。そうなると今度は高圧の窒素を送り出す配管がもたない。このため同社は、試行錯誤の末に制圧式の容器弁（バルブ）を開発、改良を重ねて出口圧力を6.5MPa以下に制御することで従来と同じ配管での設置を可能にした。コーアツが、現在主流の窒素消火でシェアトップを獲得しているのも、時代の変化に対応した製品づくりと技術開発力による所が大きい。

もう一つは、開発から設計、製造、施工据え付けに、保守・メンテナンスまでを一貫したシステム提供力。佐々木社長は、「70年にわたって業界をリードしてきた。豊富な経験とノウハウを有する人材力が強み」として、顧客の状況や要望を踏まえたトータルソ

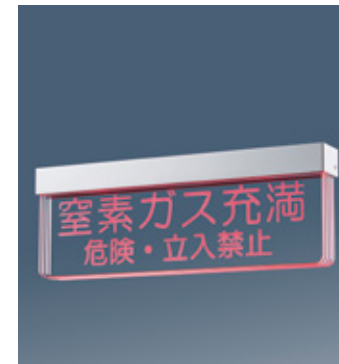


国内では唯一となるFK-5-1-12消火設備用静音形噴射ヘッド

リューションの力が大きいと強調する。例えば、数年前に商品化したガス放射音を抑制した静音形噴射ヘッド。窒素などの消火剤を放射する際に発生する大きな放射音が、DC内に設置されたハードディスク（HDD）に損傷を与える可能性があるとして、コーアツはいち早く対策に乗り出し、音圧の低い噴射ヘッドを商品化することに成功した。

新消火剤でも静音形噴射ヘッドを開発

最近では、オゾン層破壊係数ゼロで、地球温暖化係数も1以下の



グッドデザイン賞を2年連続で受賞した充満表示灯「ルクシィ」

優れた環境特性を持ち、消火能力にも優れた次世代のガス系消火剤「FK-5-1-12（Novec1230）」を用いた消火システムを商品化。DCをはじめとする情報通信施設へ提案している。佐々木社長は、「音圧を下げるとガス化できないのが課題だったが、ようやくこちらでも静音タイプを開発できた」と説明し、コーアツの新たな差別化商品の誕生を素直に喜ぶ。昨年には三田工場（兵庫県三田市）敷地内に機器開発棟を建設し、研究開発環境を強化した一方、火災発生時にガスを放出したときにサイン表示する充満表示灯「ルク



高い技術力・高品質な製品の歴史は若手社員へと受け継がれている

シィ」でグッドデザイン賞を2年連続受賞するなど、話題も豊富だ。

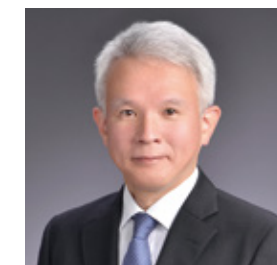
ここ数年は、毎年10人程度の新卒を採用しているが、3年後の定着率80%以上を確保し、社員一人ひとりが安全な社会につながる事業を通して高い達成感を感じていることをうかがわせる。佐々木社長は、「これまで培ったガス消火設備の知識や経験、技術をベースに新たな市場を開拓していく。そのためにも社員が生き生き働ける環境づくりが欠かせない」と強調、今後も社内の人材力を成長エンジンにしていく方針だ。



2021年に竣工した最新の機器開発棟 第55回日本サインデザイン賞（SDA賞）に入選

わが社を語る

代表取締役社長
佐々木 孝行氏



技術開発とチャレンジを惜しまず

コーアツは、二酸化炭素、ハロン、窒素など、社会の変化に応じて最新の消火剤を用いたガス系消火システムの提供を通じて、人の生命と財産を守り、安全な社会づくりに貢献してきました。最近のデジタル社会の進展に伴い、データセンターをはじめとする施設を火災から守る必要性が高まっており、私どもガス系消火設備メーカーの役割も増大しております。失敗すれば

大変なことになるという消火の重要性を忘れずに、今後もトップメーカーとして、技術開発とチャレンジを惜しまず、お客様のニーズや要望に合わせた最適な設備の提供に努めてまいります。

会社 DATA

所在地：兵庫県伊丹市北本町1丁目310番地
創業：1930（昭和5）年
設立：1951（昭和26）年
代表者：佐々木 孝行
資本金：6,000万円
従業員数：255名（2021年9月現在）
事業内容：ガス系消火設備の研究開発・設計、製造、販売、施工およびメンテナンス
QRコード：<https://www.koatsu.co.jp>

